

お知らせ

□新規導入設備の紹介(3Dプリンタ関係)

平成26年度電源地域産業関連施設等整備費補助金により、3Dプリンタ関係の2設備を導入しました。是非ご利用ください。

○三次元造形機(石膏造形用)

フルカラーで石膏を固めて造形するので、新製品を開発する際にデザイン(形状・色彩)の確認が容易になります。さらに、最終製品をイメージしやすいのでプレゼンや広報ツールとしても役立ちます。

[メーカー・型式]

3Dシステムズ(米)・
ProJet660Pro

[仕様]

・造形方式:
インクジェット
粉末固着法
・最大造形寸法:
254x381x203mm
・造形材料:石膏



[特徴]

造形速度が速く、フルカラーで造形可能

[料金]

1時間1420円、造形物1cm³あたり40円加算

○三次元造形機(樹脂造形用)

高強度、高耐熱の樹脂を溶融させて造形するので、量産する前に製品の機能を確認することができます。また、複雑な形状の組み付け治具などを容易に製作することができるので、生産現場での作業効率化にも役立ちます。

[メーカー・型式]

ストラタシス(米)・
FORTUS360mcL

[仕様]

・造形方式:
熱溶融積層法
・最大造形寸法:
406x355x406mm
・造形材料:
ABS、ポリカーボネート
(PC)、ナイロン



[特徴]

3種類の材料を比較的大きなサイズで造形可能

[料金]

1時間1500円、造形物1cm³あたり70円加算

□工業試験場ホームページをリニューアル

11月28日(金)より、工業試験場のホームページをリニューアルしました。今回は、工業試験場の主要業務をシンプルかつわかりやすく発信することを心がけました。

是非ご利用いただき、ご意見をお聞かせください。皆様からのご意見を、更なる改善に反映させ、より良いホームページにまいります。(トップページのアドレスは変更ありません。)

□産業競争力強化講演会を開催

経済産業省の地域オープンイノベーション促進事業を受けて三次元造形機(金属造形用)が導入されます。機器を広く活用していただくため、11月5日(水)に本事業の講演会を3Dプリンタ研究会 第1回造形分科会と併催で開催しました。



講演会では、(株)OPMラボラトリー 代表取締役 森本一穂氏による「金属造形の現状と課題」と題した基調講演の後、本事業で石川、富山両県に導入される機器を紹介しました。引き続き、「三次元造形機で失敗しない造形方法」について参加者と討論を行いました。本事業の導入機器の詳細については、機械金属部までご連絡ください。

□経営指導員研修会を開催

商工会議所や商工会の経営指導員と工業試験場研究員が交流を深めることにより、今後の相互の企業支援をより質の高いものとするために、10月17日(金)に「工業試験場を上手にご利用いただくために」をテーマに経営指導員研修会を開催しました。

研修会では、若手から中堅の職員が工業試験場の業務内容を分かりやすく説明し、併せて経営指導員の業務内容や工業試験場を活用する企業の事例報告も行いました。研修会には35名の参加があり、今後もこのような取り組みを継続し、経営指導員の方々と連携を深め、一緒に企業の皆様を支援できるようにしていきたいと思っております。

□中部公設試若手研究会を開催

中部経済産業局では、局管内の公設試の人材育成のため若手から中堅研究職員を対象とした交流会を例年開催してきました。公設試における知的財産の重要性の理解向上をテーマに、今年度第2回目の研究会を11月27日(木)に開催し、県外の公設試などから23名の参加がありました。

